



6. 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

事業の期待される成果 肉用牛の生産性が向上し、生産者の所得向上が図られる。

指標	指標名	あきた総合家畜市場における上場子牛の適正体重割合							指標の種類
	指標式	適正体重（去勢、300kg以上～330kg未満）での出荷頭数 / 事業実施主体の上場子牛数（％）							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	33.5	35	36.5	0	0	36.5
実績b	0	32.9	データ等の出典						
東北	0	0	あきた総合家畜市場						
全国	0	0							
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標	指標名	ICT放牧牛管理システム及び牛伝染性リンパ腫感染防止対策の累計実証件数							指標の種類
	指標式	ICT放牧牛管理システム及び牛伝染性リンパ腫感染防止対策を実証した件数							成果指標 業績指標
	年度別の目標値（見込まれる成果による指標）								
	指標	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度	06年度	07年度	最終年度
	目標a		0	10	20	29	0	0	
実績b	0	0	データ等の出典						
東北	0	0	事業実施状況調査						
全国	0	0							
把握する時期 当該年度中 03月 翌年度 月 翌々年度 月									

指標を設定することができない場合の効果の把握方法  
 指標を設定することが出来ない理由

見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業の必要性

**現状の課題及び施策目的に照らした事業の必要性**  
 肉用牛の生産性を向上させ、生産者の所得向上を図るためには、子牛の評価向上や飼養管理の省力化、疾病の感染拡大防止に対する支援が不可欠である。

**住民ニーズに照らした事業の必要性**  
 市場上場子牛の斉一性向上や公共牧場の利用による飼養管理の省力化、牛伝染性リンパ腫の感染防止に係る取組は、県内畜産関係者のニーズに応じたものである。

**事業の県関与の必要性**  
 法令・条例上の義務 内部管理事務 県でなければ実施できないもの  
 民間・市町村で実施可能であるが、県が関与する必要性が認められるもの

本県において肉用牛の生産性向上と生産拡大を推進する上での課題を解決するものであり、県が取組を主導して実施する必要がある。

政策評価委員会意見		重点事業の適合及び指標・目標値の適合性判定

重点事業 その他